

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

23号
2020
10.16

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始（12/28～1/4）だけです。



第53回 秋のバラ展

○期間：10月16日（金）～10月18日（日）

○場所：植物会館1階展示室

○内容：バラの切り花約800本を展示

◆10/18（日）バラ展関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00

（当日会場受付 13:00～）

内容：バラの栽培について

東洋蘭講演相談会

○日時：10月18日（日）13:30～15:00（受付13:00～）

○場所：植物園会館2階多目的室

○内容：寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

○講師：東洋蘭洛風会会員

第54回 菊花展

○期間：10月20日（火）～11月15日（日）

○場所：大芝生地特設展示場

○内容：大菊、小菊（懸崖作り、盆栽作り）等、約300鉢を展示（販売あり）

第3回 秋の洋ランと着生植物展

○期間：10月22日（木）～10月26日（月）

○場所：観覧温室特別展示室

○内容：秋に咲く洋ラン約200鉢とシダ類等の着生植物を展示（販売あり）

ガーデニングコンテスト

○期間：10月24日（土）～11月8日（日）

○場所：正門園路特設ガーデン

○内容：個人・グループがガーデニング力を競います！

植物園の森と水 油彩展

○期間：10月27日（火）～11月1日（日）

○場所：植物園会館1階展示室

○内容：植物園の樹木や水辺を描いた作品を展示

「園長と園内散歩」

10月25日（日）何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

第36回 菊花切花展

○期間：11月3日（火・祝）～11月5日（木）

○場所：植物園会館2階多目的室

○内容：大菊の切り花約100点を展示

寄せ植え講習会 募集中！！

11/7（土） 13:30～15:00

★季節の植物を使った寄せ植えづくり(実習) ★定員：30名

★参加費：3,000円（別途、入園料が必要）

★事前申込：往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号を明記

★〆切：10/30（金）★会場：植物園会館2階多目的室

アートボトル講習会（8） 募集中！！

11/12（木） 経験者の部 10:00～12:00

初心者の部 13:30～15:30

★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員：各10名

★参加費：3,000円（別途、入園料が必要）

★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★〆切：11/10（火）★会場：植物園会館2階多目的室

第29回 寒蘭展

○期間：11月13日（金）～11月15日（日）

○場所：植物園会館1階展示室

○内容：カンラン約100点及び席飾り5席を展示（販売あり）

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。（要相談）
- ③ ガイドは1時間程度。（無料）

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時

■ 電話075-701-0141で

※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！

大人1000円 高校生750円

・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。

※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」

2020. 10. 16
23号

⑫ クバナラ・ドミンゲンシス

アカネ科。ドミニカ共和国に分布。当園では2006年に種子を導入してバックヤードで栽培を開始した。生育に応じて鉢のサイズを大きくして栽培し、2010年に国内で初めて開花した。芳香があり、特に夜間は強く香る。(ジャングル室の高台付近)

⑪ ホトギス

ユリ科。北海道、本州から九州などに分布。紫色の斑点模様の花びらが特徴で、この斑点を鳥のホトギスの胸毛の模様にたとえて名前が付いた。花の形は、杯状の「ホトギス形」と釣鐘状の「ジョウロウホトギス形」に分かれる。

⑩ オヒルギ

ヒルギ科。奄美大島以南の琉球列島から東南アジアなどに分布。マングローブ林の代表的樹種の1つ。花後、胚は木に付いたままで発芽し、長さ15~20cmの根を出す。種子ではなく、苗で繁殖するので、胎生の植物の1つとしても有名。

⑨ トウワタ

キョウチクトウ科。野生種は南アメリカが原産。花後にできる果実が熟して弾けると、中からフワフワした綿毛の付いた種が出て来ることから「トウワタ(唐綿)」の和名が付いた。寒さに弱いため、日本では一年草として扱われる。

① ツリフネソウ

ツリフネソウ科。北海道から九州、朝鮮半島などに分布。「釣船草」と書き、花の形が帆掛け船をつり下げたように見えることから名が付いた。学名のImpatiensは「我慢できない」という意味があり、果実に触れる種子が飛び散ることに由来。

② コスモス

キク科。メキシコに自生。野生種は日が短くなると開花する短日植物で、日本では夜の時間が長くなる秋に見頃を迎えることから、古くから「秋桜」の別名でも呼ばれている。ギリシャ語で「飾り、美しい」を表すkosmosが名前の由来。

③ ソバ(赤花)

タデ科。原種はネパールで発見された。通常、ソバは白色の花が咲くのが特徴。休耕地を活用した地域おこしなどで景観用作物として利用されている。収量は一般の白花ソバの約3分の1程度とのこと。

④ サルビア・レウカンタ

シソ科。メキシコ、中央アメリカに分布。種小名のレウカンタは「白色」の意味で、白い花が紫色のがく片から突出するように咲くことによる。花とがく片の色の組み合わせを紫水晶の色になぞらえて「アメジストセージ」とも呼ばれる。

⑤ シュウメイギク

キンボウゲ科。中国、台湾などが原産。現在では野生種やそれらを交配して作られた品種をまとめてシュウメイギクという。そのうち、八重咲きで赤花のものが京都市北部の貴船地域で多く見られることで、「キブネギク」とも呼ばれている。

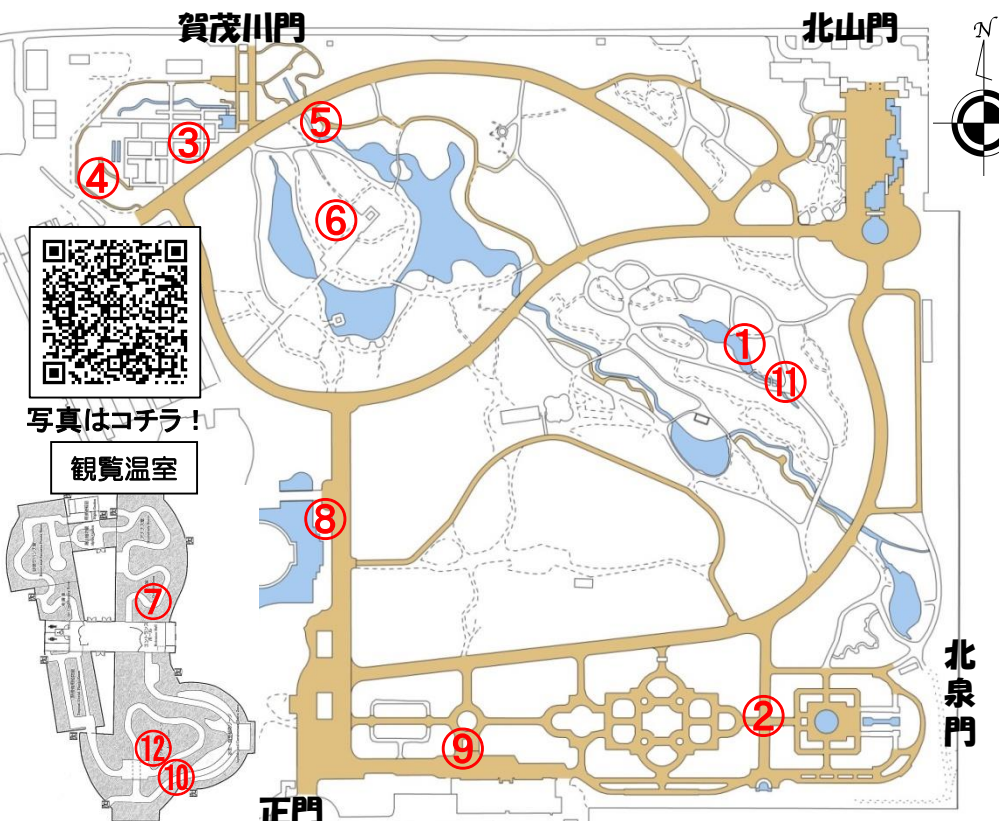
⑥ カゴノキ

クスノキ科。本州、四国、九州などに分布。漢字では「鹿子の木」と書き、特徴的な鹿の子模様の樹皮に由来する。半木神社周辺の「なからぎの森」は当園創設以前から現存する園内唯一の自然林で、この個体は最重要木の1つ。



写真はコチラ!

観覧温室



⑧ ブルグマンシア

ナス科。野生種は熱帯アメリカに分布。楽器のトランペットのような花がたくさん垂れ下がって咲く姿は、日本の植物にはない迫力とロピカルな印象。その見た目から「エンジェルズ・トランペット」とも呼ばれている。

⑦ アングレクム・ロンギカルカル

ラン科。マダガスカル原産。本属中最も長い距を持つ種類で、種小名のロンギカルカルも「長い距」の意味。距(きょ)は花びらの一部が袋状または管状にくぼみ、内部に蜜腺を持つ構造となっている。当園では昨年、初めて開花した。